

ヒツジのふれあいタイム

平成27年は未年です！

到津の森公園にヒツジがやってきました。

来園記念に、一緒に記念写真はいかがですか？



- 期 間 2月1日(日)まで
- 時 間 平日 14:45~15:15
土日祝 10:30~11:00/14:45~15:15
- 場 所 ふれあい動物園内 「なかよし広場」

※ただし、お客様の状況等により、早めに受付を終了する場合があります。

※また、天候やどうぶつの体調により、中止したり早めに収容したりすることがあります。

☆森のおはなし探検隊 『鬼の面作り』☆

子どもから大人まで楽しめるプログラムを月替わりで用意しています。

多くの方の参加をお待ちしています！

開催日時 1月11日(日) 13:00~14:00

開催場所 子どもホール2階

参加費 無料(別途要入園料)・事前予約不要



天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。

詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 1月号 2015年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」15年1月1日発行 通巻143号

あけましておめでとうになります

動物園ライター・森 由民氏 講演会

動物園はだれのもの？

日 時：2015年1月17日(土)

13:30~15:30

(受付13:00~)

会 場：到津の森公園

子どもホール1階

北九州市小倉北区上到津 4-1-8

参加費：無 料 (但し、別途入園料及び駐車料金は必要)

入園料：大人800円/中・高校生400円/

4歳~小学生100円

駐車場料金：普通車600円/1日

知ると楽しい!
面白い!
動物園の魅力
再発見!

森 由民 (もり ゆうみん) 氏 1963年神奈川県生まれ

動物園ライター・千葉市動物公園ZOOアドバイザー

日本各地の動物園をめぐり、動物たちの姿や動物園を紹介している。動物園ガイドや各地で行う講演で、動物園の楽しみ方などを発信中!

《主な著書》

『ひめちゃんとふたりのおかあさん』(フレーベル館)

『約束しよう、キリンのリンリン』(フレーベル館)

『動物園の秘密 展示の工夫から飼育員の仕事まで』

(PHP研究所) 他

※会場にて著書を販売します。

講演終了後にサイン会を行います。

森の仲間たち・ヒツジ

ヒツジの仲間入り？

新年明けましておめでとうございます！本年も、どうぞ到津の森公園をよろしく願い申し上げます。

と、ここで突然ですが、皆さんに質問です。今年の干支はご存知でしょうか？

そうです！「ヒツジ」ですね。しかし、皆さんご存知のとおり、到津の森公園にはヤギはたくさんいても、残念ながらこれまでヒツジはいませんでした。

しかし！なっ、なっ、何と現在、なかよし広場内にヒツジがいるのです！！

このヒツジは、「ドロップ」という名前の男の子で、今年の干支アニマルとして飯塚市のピクニカ共和国からお借りしてきました。

性格は、人なつこいながらも臆病な面を持ち合わせている、ちょっと不思議な子です。

そんなドロップくんですが、毎日のふれあいの時間にはお客様から「かわいい」とか「ふかふかだね」などの声をいただいております。

ドロップくんは、2月1日までの期間限定でなかよし広場で展示しています。ふれあいタイムも、平日は14時45分から15時15分までの1日に1回、土日祝日は10時30分から11時00分までと、14時45分から15時15分までの1日2回実施しています。

ぜひ一度、ドロップくんに会いに来て、ふれあっていただけたらと思います。

飼育展示係 川端 徹



花暦睦月

極寒のこのシーズンに、異様に澄んだ青空の日がありますね。白い雲がポッカリ浮かび、まるで南国に来たような・・・でもそんな日こそ、無風ながらあくまで空気は冷たく震えあがる寒さなのです。そして南ゲートでは、青い空とその下の森の緑をバックに「ウエルカムツリー」の二本のタブノキが出迎えてくれていました・・・が。

去年秋、片方のタブノキが立派な大きさの故に、安全の為にカットされました。やはり材の中心部は傷んでいるのが見られます。(管理棟裏に輪切の形で横たわっています)

タブノキはシイノキやクスノキと共に常緑広葉樹の代表的なもので、特に初夏の赤い若葉の力強さは私達に元気を与えてくれると共に、夏の近さを実感させるものでした。

でもイヌグスと呼ばれるタブノキは、クスノキに比べ寿命が短いのか、巨木と呼ばれるものは少ない気がします。

福岡県内の県指定天然記念物に指定されているタブノキは、筑紫野の「立明寺のタブノキ」・朝倉市の「古塔塚のナンジャモンジャ(名前のよくわからない大木がこう呼ばれる)」があるのみ。

タブノキの切株からはヒコバエが出て、また立派なタブノキが育つ萌芽更新しやすい木とされていますが、残念ながらこの「ウエルカムツリー」にはその気配を感じません。

園内にはクスノキやヤマモモなど、随分大きな樹木が見られます。これからも彼らを見守り労わって“巨木”と呼ばれる程育ててくれたらと思います。

謹賀新年



文：花咲くおばさん